マックス タイムレコーダ

ER-120S

取扱説明書

注意

操作編

設定編

ご使用中に

- ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- この取扱説明書の内容を無断で転載することは禁じられています。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

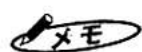
このたびは、マックスタイムレコーダER-120Sをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

ご使用上の注意

■表示について

この取扱説明書および商品には、本機を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行なってはいけないことや、物的損害のみの発生が予想され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

お願い　本機が故障して修理が必要となることが想定される操作や、現状復帰するために、リセットなどの操作が必要になるので絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

メモ　操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

参照　取扱説明書のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

■絵表示について

記号は「気を付けるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。

記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

記号は「しなければならないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な指示内容です。

ご使用上の注意

⚠警告

●本機は絶対に分解または改造しないでください。火災、感電、故障の原因になります。

●本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。故障や感電、けがの原因になります。

●電源は直接コンセントから取り、タコ足配線はしないでください。火災の原因になります。

●電源コードの上に重たいものを絶対にのせないでください。コードに傷が付いて、火災や感電の原因になります。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

●水、薬品などが本機にかからないようにしてください。故障や感電の原因になります。

●電源は100V専用コンセントを使用してください。100V以外の電源を使用すると、故障や火災、感電の原因になります。

●万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理を依頼してください。そのままで利用すると、故障や火災、感電の原因になります。

●故障のまま本機を使わないでください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど故障のまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理を依頼してください。

⚠注意

●大きな容量を必要とする機器（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントを共用しないでください。電圧が下がり本機が誤動作する可能性があります。

●紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。

●プリンタヘッドには絶対にさわらないでください。印字直後のプリンタヘッドは高温になっており、やけどの原因になります。

●長時間使用しないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●設置場所を移動する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。無理をするとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。

ご使用上の注意

⚠注意

●**インクリボンの交換の際には、必ず電源プラグを抜いてください。** 本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

●**壁への取り付け作業を行う際には、必ず電源プラグを抜いてください。** 本機が不意に動作した時、けがや故障の原因になります。

●**電源プラグは定期的に掃除してください。** 長い間にホコリ等がたまり、火災や故障の原因になります。

●**電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらずに、必ず、電源プラグを持って抜いてください。** コードが破損して、火災や感電の原因になります。

●**インクリボンの交換の際、万一、指や体にインクが付着した場合は、すぐに石鹸水で洗い流してください。**

●**本機は必ず水平に設置してください。** ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。

●**壁に掛けて使用するときは、本機の重さを十分支えられる壁にしっかりと固定してください。** 落ちたりして、けがや故障の原因になります。

お願い 本機のトラブルを避け、故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

●トラブルの原因になりますので次のような場所では使用および保管をしないでください。
1.直射日光の当たる場所やヒーターなどの熱源に近い場所
2.ホコリや湿気の多い場所
3.傾いたり振動や衝撃の加わる場所
4.温度0°以下、40°C以上になる場所

●本機の汚れを落とす際は、乾いた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤や薬品は使わないでください。変形したり変色するなどの原因になります。

●専用タイムカード「ER-Sカード」以外は使えません。又、折れ曲がったり、破れたり、濡れたカードは絶対に使用しないでください。

●インクリボンは必ず「ER-IR100」をご使用ください。

●カードの横のパンチ穴をふさいだり、破損させたりしないでください。本機は、タイムカードのパンチ穴を読みとって印字欄を決定します。

●タイムカードを強く押し込んだり、印字中に抜いたりしないでください。カードは自動的に引き込まれ、自動的にもどります。

目　次

注意

操作編

設定編

ご使用中に

①ER-120Sの特長

①西暦年、月、日、時刻は設定済みですので、電源を入れるだけですぐご使用いただけます。
出荷時に締日は20日に設定されております。20日締め以外のお客様は締日の設定が必要です。 参照 P.11 設定の方法

②文字板に光を集め、数字をはっきり見せる集光板を使用しています。ライトを点灯することで、薄暗いところでのご使用の場合も時刻が確認し易くなります。 参照 P.8 毎日の使い方

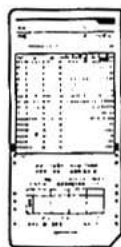
③設置方法が次の2つから選べます。 参照 P.7 設置の方法
●置いて使用 ⇨そのままお使い下さい。
●壁に掛けて使用 ⇨ワンタッチで壁に掛けられます。

④タイムカードを入れるだけで、毎日のご使用はボタン操作の必要がないタイムレコーダです。 参照 P.8 毎日の操作方法
●印字する段や印字欄は自動的に選択されます。
●出勤など打ち忘れて退勤するときはボタン操作で印字欄を指定できます。

⑤始業時刻、終業時刻を設定すると、遅刻マーク（チ）・早退マーク（ソ）が自動的に印字されます。 参照 P.12 設定の方法

⑥不意の停電や設定場所の移動によって電源が遮断された場合でも、内蔵のリチウム電池で工場出荷から停電累計5年間は日付、時計、設定内容などのデータを保持します。但し、停電時の印字はできません。

付属品 ご使用前に必ずお確かめ下さい。

取扱説明書（本書）1冊	サンプルカード（ER-Sカード）20枚	お客様登録カード（保証書） 1枚	壁掛け用ネジ 2個

お願い
●お手数ですが、お客様登録カードに所定事項をご記入の上ご投函ください。マックスお客様リストに登録し、アフターサービスに活用させていただきます。
●操作がわからなくなった時には、本書をお読みいただけますよういつでも取り出せる場所に大切に保管して下さい。

② 各部の名称とはたらき

フロントカバー

インクリボンの交換や設定する時にはずします。

カード挿入口

タイムカードを挿入します。

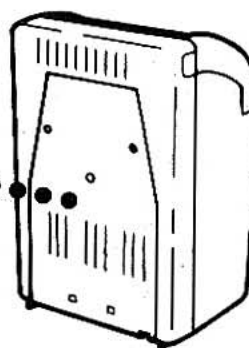
出退ボタン

通常は押さなくても印字欄は自動で選択されます。
ボタンを押すとボタンが優先されます。

表示画面

通常は日付（年月日）を表示しています。

壁掛け用フック

壁掛けで使用する時に取り外し、フックとして使います。 参照 P.7

操作ボタン

ライト点灯スイッチ

●薄暗い場所で文字板を光らせることができます。

▲数字送り・▼数字戻し

●点滅している数字の送り、戻しをします。

■セット

●点滅部を確定します。

◷ 設定終了

●設定を終了し、通常画面に戻します。

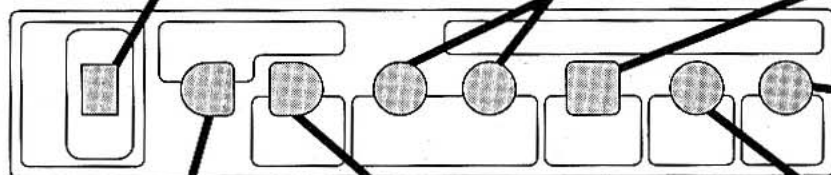
C クリア

●設定した内容をキャンセルします。

設定開始

●設定を開始する時に約2秒間押し続けます。

▶ 項目送り

●設定項目を選択する時に使います。

③ 毎日の使い方

設置方法

⚠注意

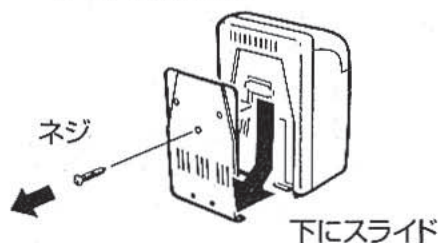
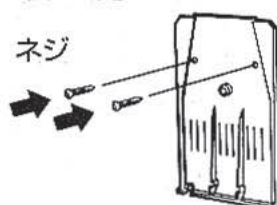
●本機は必ず水平に設置してください。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。
●壁に掛けて使用するときは、本機の重さを十分支えられる壁にしっかりと固定してください。落ちたりして、けがや故障の原因になります。

●壁への取り付け作業を行う際には、必ず電源プラグを抜いてください。本機が不意に動作した時、けがや故障の原因になります。

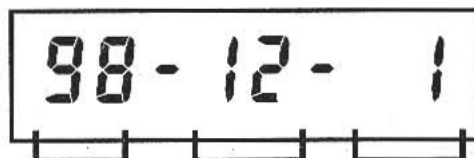
置いて使う場合

○そのままご使用になれます。

壁に掛けて使う場合

①背面のネジを外し、壁掛け用フックを取り外します。

②付属のネジ2個を使い、壁掛け用フックを壁掛けしたい位置に取り付けます。

③本体をフックにスライドさせながら取り付けます。

表示画面

●通常表示

※設定は表示画面上で行います。

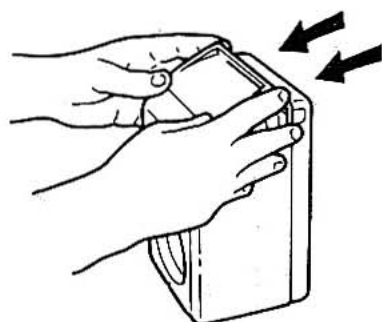
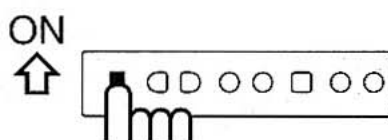
③ 毎日の使い方

毎日の操作方法

●毎日の出勤、退勤のときは、専用タイムカード「ER-Sカード」を挿入します。
●タイムカードを挿入するだけで日付、曜日、時刻が印字されます。印字欄は自動で選択されます。
● 出 退 ボタンを押すと印字はボタン操作を優先します。

ライトの点灯方法

●薄暗い場所でご使用になられる場合には、ライトのスイッチをONさせたままでご使用ください。

①フロントカバーを外します。

②ライトのスイッチをONさせます。

③文字板の周囲4ヶ所が光り、時刻が確認し易くなります。

タイムカードの印字例

●日付、曜日、出勤、退勤の打刻を各1回づつ印字します。
●始業時刻、終業時刻を設定すると、遅刻マーク「チ」、早退マーク「ソ」を印字します。

日付　時刻　遅刻マーク　早退マーク

日付	出	退	出	退	出	退
			出	退		時間数
1月	8:56	17:47				
2火	8:48	17:44				
3水	9:02チ	17:55				
4木	8:54	16:53ソ				
5金	8:46	17:48				

④設定の方法

●全ての項目を設定しなくてはいけないわけではありません。
必要の無い項目は、(▶項目送り) で飛ばしてください。

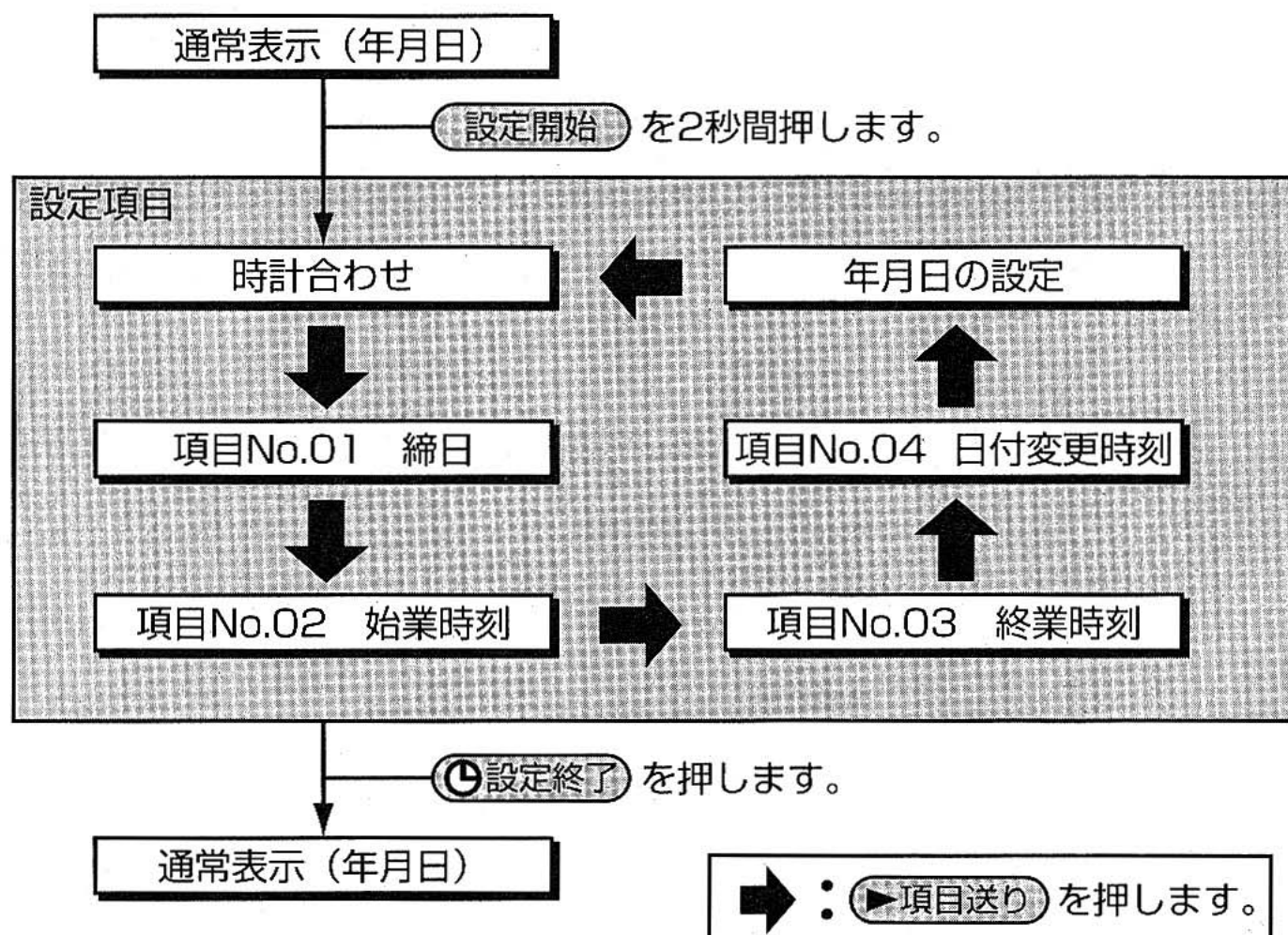
◎工場出荷時の初期設定は、次のようになっています。

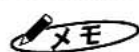
項目No.	項目名	初期設定
なし	時計合わせ	設定済み
01	締日	20日
02	始業時刻	設定なし（−−：−−）
03	終業時刻	設定なし（−−：−−）
04	日付変更時刻	3：00
なし	年月日	設定済み

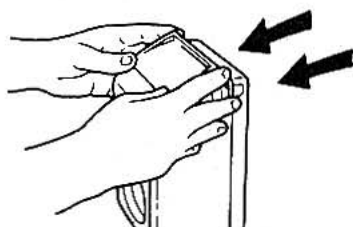
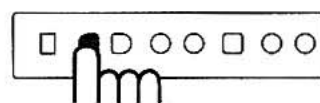
◎大まかな“設定の流れ”は次のようになっています。

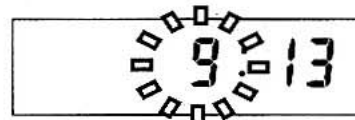
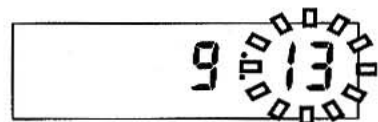
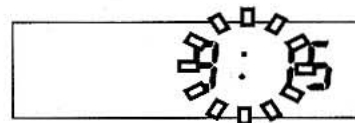
(▶項目送り) で設定項目を選び、(▲数字送り) ＋ (■セット) で確定します。

(設定終了) で通常表示に戻ります。

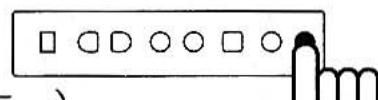
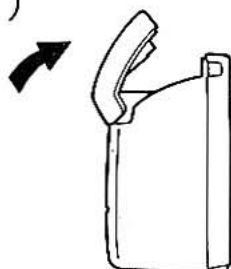
各項目の設定方法は、該当ページを参照してください。

④設定の方法

4-1　時計合わせの方法

●出荷時に現在時刻は設定されていますので改めて設定する必要はありません。万一遅れたときに操作してください。
●時刻は24H表示で入力します。

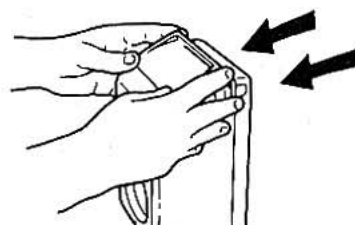
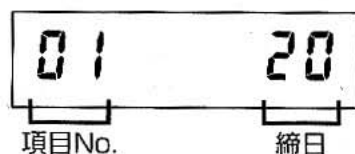
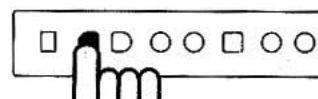
①フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

②（設定開始）を約2秒間押し続けます。
⇨ピッピッピと音が3回鳴り、設定に入ります。
（1分以上何も押さないと自動的に通常画面に戻ります。
設定中は時計の針は動きません。）

他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

③「時間」のセット
（▲数字送り）で合わせ、（■セット）で確定します。
（変える必要がなければ、そのままセット）
⇨点滅部が「分」に移動します。

④「分」のセット
（▲数字送り）で合わせ、（■セット）で確定します。
⇨ピッピッと音が2回鳴り、設定されます。

⑤ **:**（コロン）が点滅して、時計が動き始めます。
（この時（▲数字送り）を押すと、再設定が出来ます）

これでこの項目の設定は終了です。

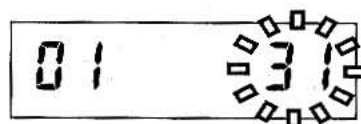
⑥ ●他の設定を続けて行いたい時
⇨（▶項目送り）で他の設定に移れます。

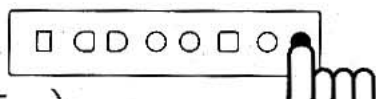
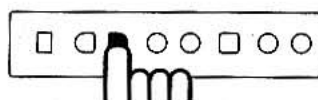
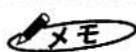
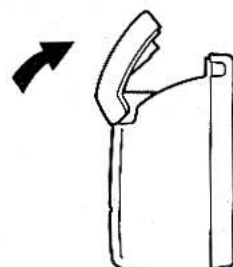
●他に設定がない時
⇨（設定終了）で通常画面に戻ります。
（設定終了と同時に時計の針が現在時刻に合います。）

⑦フロントカバーを取り付けます。

4-2　締日の設定

メモ
- 「機械本体の初期設定は20日締めです。」
  締日が違う場合に変更してください。
- 締日が20日のところは改めて設定する必要はありません。
- 月末締めの場合は「31」とセットします。

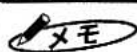
①フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

② (設定開始) を約2秒間押し続けます。
⇨ピッピッピと音が3回鳴り、設定に入ります。
（1分以上何も押さないと自動的に通常画面に戻ります。
設定中は時計の針は動きません。）

③ (▶項目送り) で「項目No.01」に合わせます。

他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

④ (▲数字送り) で合わせ、(■セット) で確定します。
⇨ピッピッと音が2回鳴り、設定されます。
もう一度 (■セット) を押すと再設定が出来ます。

これでこの項目の設定は終了です。

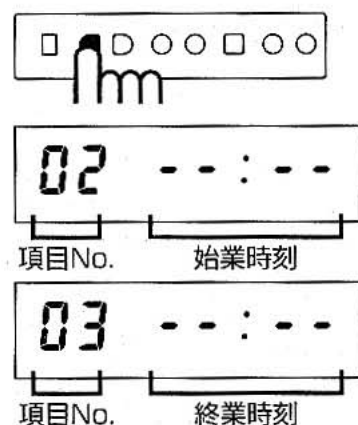
⑤ ●他の設定を続けて行いたい時
⇨ (▶項目送り) で他の設定に移れます。
●他に設定がない時
⇨ (設定終了) で通常画面に戻ります。
（設定終了と同時に時計の針が現在時刻に合います。）

⑥フロントカバーを取り付けます。

メモ　④の時に (C クリア) を押すと、初期値（20日）に戻ります。

④ 設定の方法

4-3　始業時刻/終業時刻の合わせ方

●「工場出荷時には、設定されていません。（−−：−−）」
●設定された始業時刻より後の出勤は遅刻、終業時刻より前の退勤は早退と判断され、時刻の後に遅刻マーク「チ」、早退マーク「ソ」を同時に印字します。
（設定時刻と同時の出勤、退勤は、マークの印字はしません。）
●時刻は24H表示で入力します。

①フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

② （設定開始）ボタンを約2秒間押し続けます。
⇨ピッピッピと音が3回鳴り、設定に入ります。
（1分以上何も押さないと自動的に時計に戻ります。設定中は時計の針は動きません。）

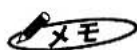
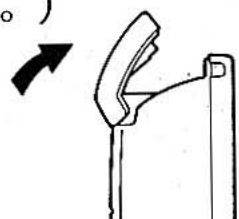
③“始業時刻”の設定の場合は、（▶項目送り）で「項目No.02」に合わせます。
（“終業時刻”の設定の場合は、（▶項目送り）で「項目No.03」に合わせます。）

他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

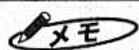
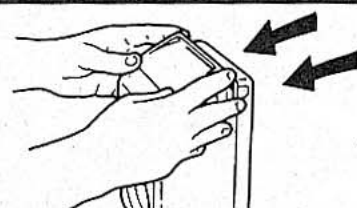
④「時間」のセット
（▲数字送り）で合わせ、（■セット）で確定します。
⇨点滅部が「分」に移動します。

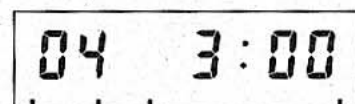
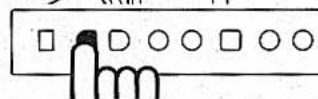
⑤「分」のセット
（▲数字送り）で合わせ、（■セット）で確定します。
⇨ピッピッと音が2回鳴り、設定されます。
もう一度「セット」を押すと再設定が出来ます。
※“終業時刻”の設定も、④、⑤と同様に行ないます。

これでこの項目の設定は終了です。

⑥ ●他の設定を続けて行いたい時
⇨（▶項目送り）で他の設定に移れます。
●他に設定がない時
⇨（設定終了）で通常画面に戻ります。
（設定終了と同時に時計の針が現在時刻に合います。）

⑦フロントカバーを取り付けます。

④、⑤の時に、（C クリア）を押すと、設定のない状態（−−：−−）に戻ります。

④ 設定の方法

4-4　日付変更時刻の設定

●タイムカードの段を切替える時刻＝タイムレコーダ内部の日付を変更する時刻です。
●この時刻をまたいで働くと退勤が出勤より1段下に印字されてしまいます。
●「初期設定は深夜3時です。」この時間に勤務する人がいなければ、改めて設定する必要はありません。
●時刻は24H表示で入力します。

①フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

②（設定開始）を約2秒間押し続けます。
⇨ピッピッピと音が3回鳴り、設定に入ります。
（1分以上何も押さないと自動的に通常画面に戻ります。
設定中は時計の針は動きません。）

③（▶項目送り）で「項目No.04」に合わせます。

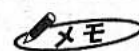
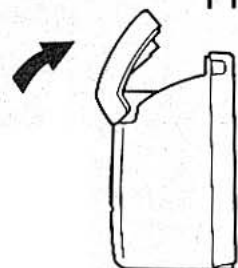
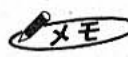
他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

④「時間」のセット
（▲数字送り）で合わせ、（■セット）で確定します。
⇨点滅部が「分」に移動します。

⑤「分」のセット
（▲数字送り）で合わせ、（■セット）で確定します。
⇨ピッピッと音が2回鳴り、設定されます。
もう一度（■セット）を押すと再設定が出来ます。

これでこの項目の設定は終了です。

⑥ ●他の設定を続けて行いたい時
⇨（▶項目送り）で他の設定に移れます。
●他に設定がない時
⇨（設定終了）で通常画面に戻ります。
（設定終了と同時に時計の針が現在時刻に合います。）

⑦フロントカバーを取り付けます。

メモ　④、⑤の時に、（C クリア）を押すと、初期値（深夜3：00）に戻ります。

4-5　年月日の設定方法

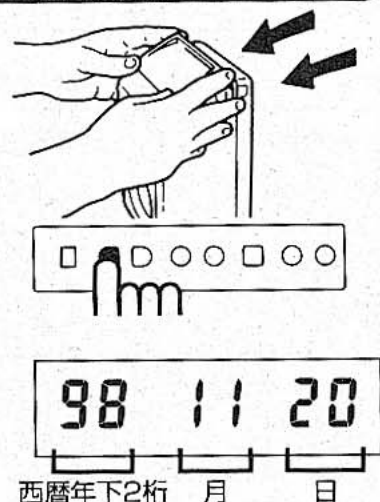
メモ　工場出荷時に西暦年、月、日は設定されていますので、改めて設定する必要はありません。

①フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

② 設定開始 を約2秒間押し続けます。

⇨ピッピッピと音が3回鳴り、設定に入ります。

（1分以上何も押さないと自動的に通常画面に戻ります。
設定中は時計の針は動きません。）

③ ▶項目送り で「年月日」に合わせます。

他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

④「年」のセット

▲数字送り で合わせ、■セット で確定します。

（2000年は00とセットします）

⇨点滅部が「月」に移動します。

⑤「月」のセット

▲数字送り で合わせ、■セット で確定します。

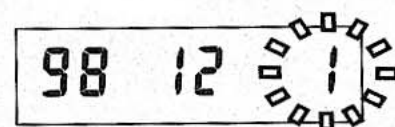
⇨点滅部が「日」に移動します。

⑥「日」のセット

▲数字送り で合わせ、■セット で確定します。

⇨ピッピッと音が2回鳴り、設定されます。

もう一度 ■セット を押すと再設定が出来ます。

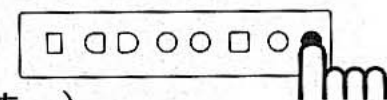
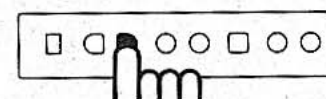
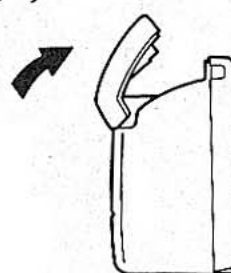
98 12 1

これでこの項目の設定は終了です。

⑦ ●他の設定を続けて行いたい時

⇨ ▶項目送り で他の設定に移れます。

●他に設定がない時

⇨ 設定終了 で通常画面に戻ります。

（設定終了と同時に時計の針が現在時刻に合います。）

⑧フロントカバーを取り付けます。

5 インクリボンの交換方法

印字がうすくなったら早めに専用インクリボン・ER-IR100（別売）と交換してください。

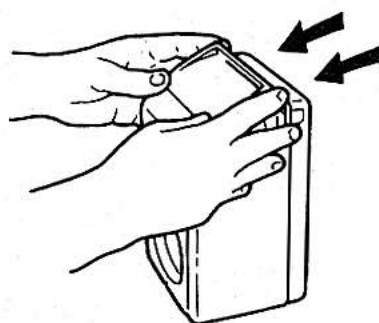
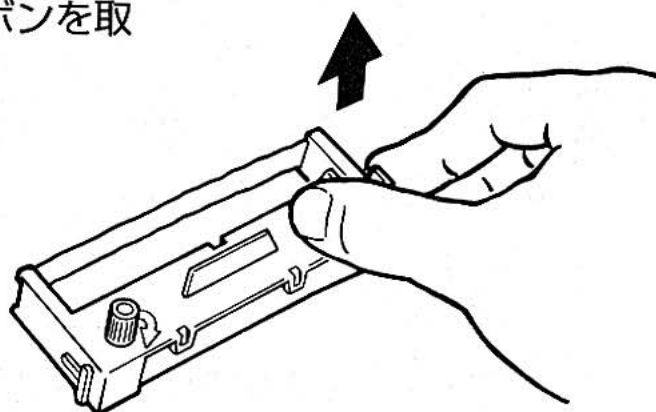
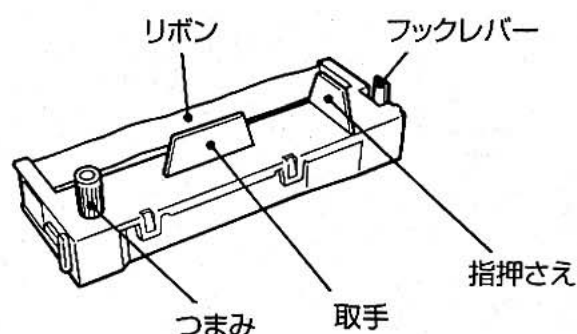
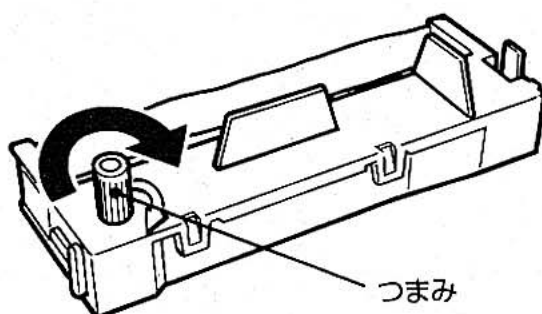
＊インクの補充はできません。お求めは、タイムレコーダをお買い上げになったお店またはお近くの文具・事務機販売店にご用命ください。

⚠注意

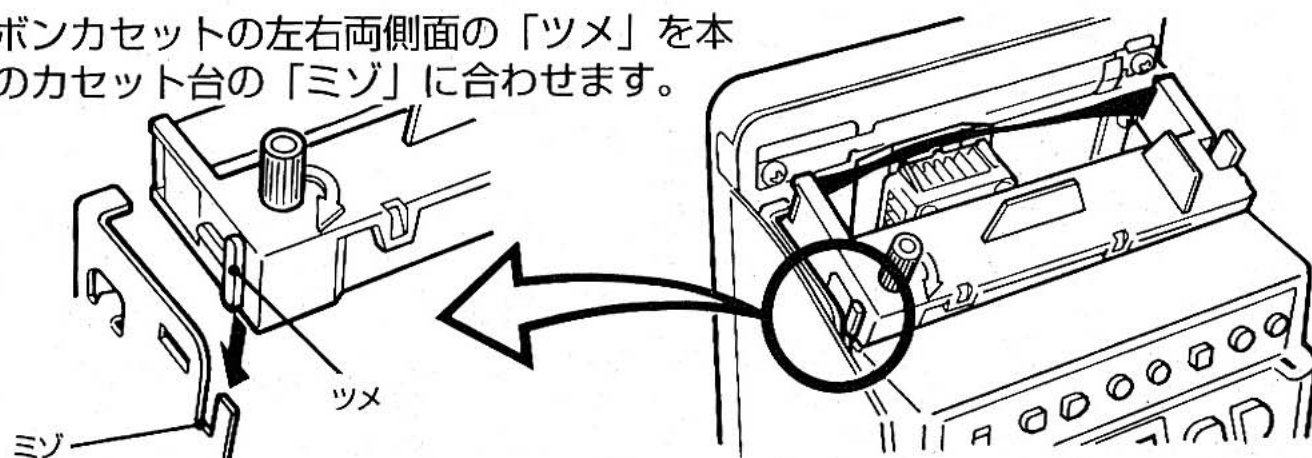
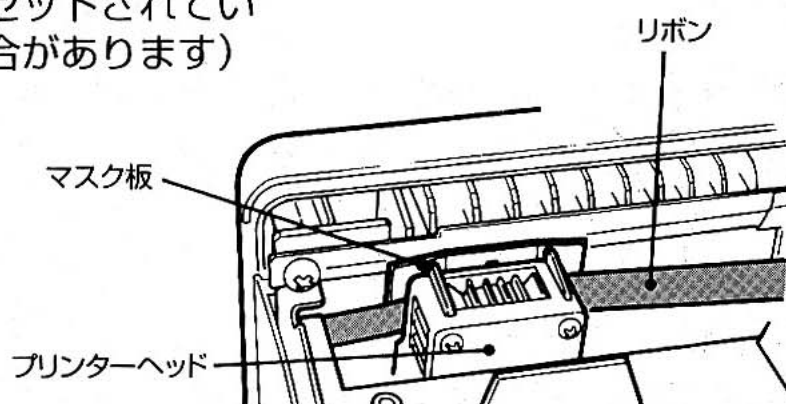
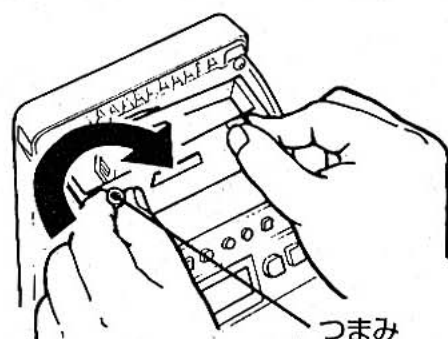
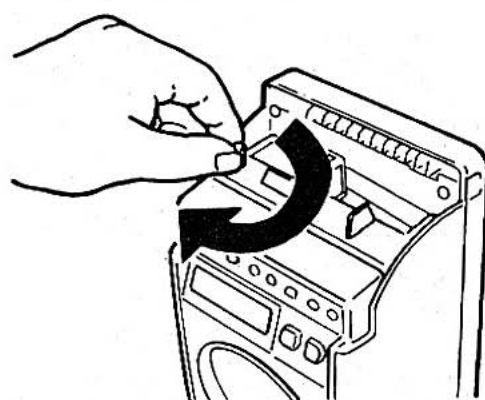
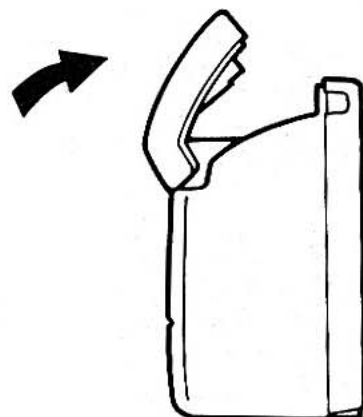
●プリンタヘッドには絶対にさわらないでください。印字直後のプリンタヘッドは高温になっており、やけどの原因になります。

●インクリボンの交換の際には、必ず電源プラグを抜いてください。本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

●インクリボンの交換の際、万一、指や体にインクが付着した場合は、すぐに石鹸水で洗い流してください。

①フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

②リボンカセットの「指押さえ」と「フックレバー」を右手の親指と人差し指ではさみ、そのまま持ち上げます。次に「取手」を左手でつまんで持ち上げ、インクリボンを取り外します。

③新しいリボンカセットを取りだし、「つまみ」を矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。
（エンドレスリボンです。たるみを取るために巻き取った部分も使えます。ピンと張るまで充分に巻いてください）

5 インクリボンの交換方法

④リボンカセットの左右両側面の「ツメ」を本体のカセット台の「ミゾ」に合わせます。

ツメ
ミゾ

⑤リボンカセットの「つまみ」を回しながら、「リボン」が「プリンターヘッド」と「マスク板」の間になるよう、カチッと音がするまで押しつけます。（きちんとセットされていないとリボンが送られない場合があります）

⑥リボンカセットのつまみを矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。この時、リボンが正しくセットされているか、リボンのねじれがないか確認してください。

⑦フロントカバーを取りつけます。

⑧電源コードを差し込み、未使用のタイムカードを入れて印字が正常であることを確認してください。

⑥ こんな時は

故障と思われる前にご確認ください。

現　　象	チェック方法	処　　置
カード印字しない	インクリボンを正しくセットしていますか	インクリボンを正しくセットしてください
タイムカードが入らない	カードの曲がり、破損はないですか	新しいカードをご使用ください
カードが入ったまま出てこない	印字途中、電源コードが抜かれていませんか	電源コードを抜き、差し込み直してください
印字する段がずれる	印字中に押し込んだり、ひっぱったりしていませんか	カードは自動送りされますので軽く差し込んでください
印字がうすい	インクリボンを永く使っていませんか	インクリボンを新しいものと交換してください

●以上の処置を行っても、正常に復帰できない場合は、お買い上げ店またはお近くのマックスサービス㈱窓口まで、ご相談ください。

⑦ エラー一覧

エラーコードを確認して処置を行ってください。

エラーコード	内　　容	処　　置
E-00	自動送りされる位置まで、タイムカードが入っていない	タイムカードが自動送りされるまで、軽く押し込んでください
E-01	カードの表裏上下が間違っている	カードを正しい向きで入れてください
E-02	パンチ穴が正常に読めない	E-69〇〇と同様の処置を行ってください
E-04	すでに退勤打刻が終了しています	
E-05	本日の使用人数が150名を越えています	
E-6900 E-6901 E-6902	自動送りされても、カードがスムーズに入っていかない	カードが自動送りされたら、手を離してください。カードの曲がりなどがないか確認してください
E-EE	プリンター異常	電源プラグを抜き差ししてください
E-A0	時計異常	電源プラグを抜き差ししてください

⑧ 商品仕様

商品名	ER-120S
電　源	AC100V　50/60Hz
外形寸法	200(H)×135(W)×114(D)mm
重　量	2.0Kg
消費電力	通常5.4W　最大35W
時計機構	水晶発振式
時計表示	アナログ表示
文字板	集光樹脂文字板（ライト付）
表示内容	年月日
印字方式	インパクトドット方式
印字内容	日付、曜日、時分、（チ）、（ソ）
メモリー保持	工場出荷時より停電累計5年間
使用人数	最大150人
タイムカード	専用カード「ER-Sカード」
インクリボン	専用インクリボン「ER-IR100」
使用温度	0℃～40℃
保存温度	−20℃～60℃

⑨ 保証書とアフターサービス

保証書について

●保証期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき無料修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間後の修理は、お買い求めの販売店、当社営業所、またはマックスサービス㈱窓口にご相談ください。修理によって機能が維持出来る場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

●お客様登録カード：お買い上げ後、必ずお客様登録カードをお送りください。当社のサービス台帳にお客様の名前が登録され、同時に保証書も有効になります。

アフターサービスについて

●お買い求めの販売店、または当社営業所、マックスサービス㈱にご相談ください。

●出張修理：サービスマンを派遣し料金はその都度お支払いいただきます。（地域によって出張出来ない所もありますので、当社営業所またはマックスサービス㈱にご相談ください。）
修理代（技術料＋部品代）に出張料をプラスしてご請求申し上げます。

●持ち込み修理：修理品を販売店、またはマックスサービス㈱の窓口にお持ち込みください。